

毎年
4/2は

国連の定めた
世界自閉症啓発デー

※国連が定める啓発デーには、3月21日の「世界ダウン症の日」もあります。

World Autism Awareness Day

発達障害啓発週間 4月2日～8日

みんな たいせつ

つながる えがお

123
SESAME STREET

セサミストリートには、多種多様なキャラクターがたくさん登場します。オレンジ色の髪をした女の子「ジュリア」は、自閉症の特性があるキャラクターです。
©2015 Sesame Workshop. All rights reserved.

応援メッセージを募集しています

日本各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会公式サイト
<https://www.worldautismawarenessday.jp/>

啓発デー

#世界自閉症啓発デー

主催 厚生労働省(発達障害情報・支援センター) 一般社団法人日本自閉症協会

共催 文部科学省 子ども家庭庁 国立特別支援教育総合研究所 全日本自閉症支援者協会 日本自閉症スペクトラム学会 日本発達障害ネットワーク 発達障害者支援センター 全国連絡協議会 全国情緒障害教育研究会 全国児童発達支援協議会 自閉症児者も家族にもつ医師・歯科医師の会 国立事知覚的障害者総合施設のみらの園

お問い合わせ先 一般社団法人日本自閉症協会 Tel.03-3545-3380 Fax.03-3545-3381 E-mail: asj@autism.or.jp

4月2日は、世界自閉症啓発デー

4月2日～8日は発達障害啓発週間です

～「癒やし」や「希望」を表す「ブルー（青）」を自閉症のシンボルカラーとしています～
2007年の国連総会で、カタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。
自閉症をはじめとする発達障がいについて知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障がいのある人だけでなく誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えています。

♡ なぜ「多様性を受け入れる」ことが大事なの？

みんなが安心して、自分らしく参加し暮らせる社会（共生社会）をつくるには、互いの「凸凹（でこぼこ）」の「違い」を受け入れ合って尊重し合えることが、とても大切だからです。

発達の凸凹（得手不得手、強み弱みなど）も特別な人だけが持つものでもなく、誰にでもあるものです。自分と違う人を尊重することは、自分自身も大切にされることにつながります。（年齢、国籍、文化、価値観、障がいの有無など関係なく）目の前に困っている人がいたら助け、自分も困ったら誰かに助けてもらう。この瞬間の「ありがとう」の思いや「えがお」を、いっぱいつなげることが共生社会へつながる第一歩となります。

♡ 発達障がいがあっても生きやすくなるために

発達障がいは脳の特徴（発達の凸凹と表現することがあります）によって発達のしかたやスピードが違うために、生活や学びの場で苦手なことや上手くできないことが増えて、困ってしまうことをいいます。

「発達障がい」は見えない障がいと言われるように「個性なのか、障がいなのか」わかりづらく本人も、関わる側も困っていたりします。発達障がいのある方も安心して社会で生きるためには、「発達障がい」や「適切な支援」とは何かを多くの方に正しく知ってもらうことがとても重要になります。まずは「知る」ことから始めましょう。



■ 発達障がいについて詳しく知りたい方は、こちらをご覧ください

世界自閉症啓発デー



発達障害ナビポータル



国立特別支援教育
総合研究所



■ 相談できるところ

宇和島市発達支援センター

0895-49-8889

宇和島市 学校教育課

0895-49-7031

（特別支援教育担当者）

